

鼠径ヘルニア手術

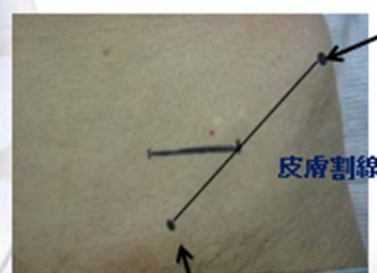
- ✓ 鼠径ヘルニア診断ができる
- ✓ 鼠径部の解剖を理解する
- ✓ 病態に対して適切な術式を選択できる

鼠径部の解剖が理解しやすく、どのような術式にも対応できる手術(手技を統一して定型化)

短期集中で学習効果を高める(助手30例、術者30例/6ヶ月)
指導医の判断により単一術者として手術を施行

手術手技

Step1 皮膚切開→外腹斜筋腱膜



上前腸骨棘

皮膚割線に沿って4cm

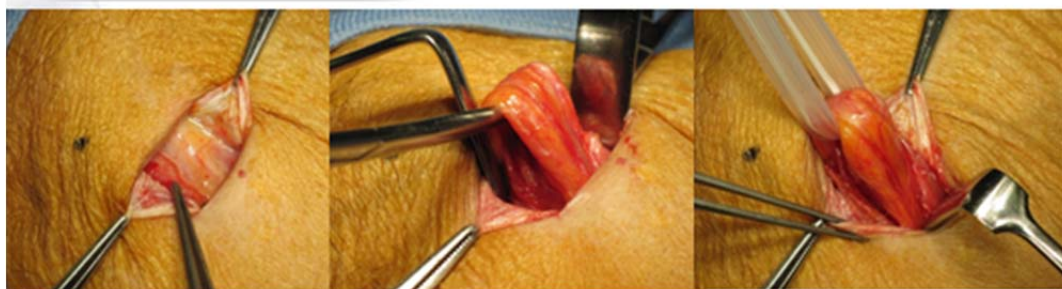
恥骨結節左線



- ✓ 浅腹壁動静脈は結紮切離
- ✓ Camper's fascia, Scarpa's fasciaの層を意識し電気メスで切開をすすめる

手術手技

Step2 鼠径管の開放→精巣動静脈、精管、ヘルニア囊の剥離



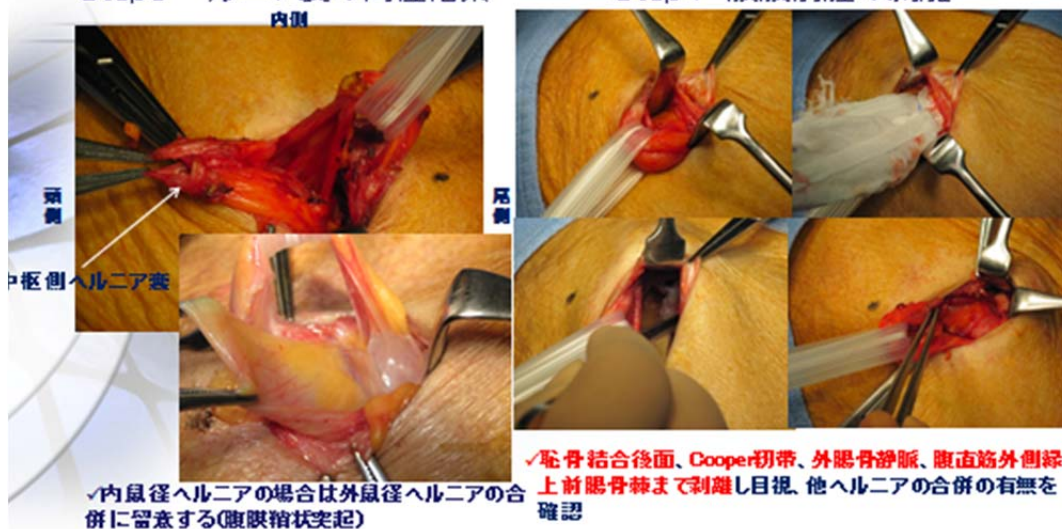
- ✓外腹斜筋腱膜の切開
- ✓精索の剥離
- ✓腸骨鼠径神経、腸骨下腹神経、陰部大動脈の陰部枝(外精巣静脈)などを確認
- ✓精索のテーピング

関

手術手技

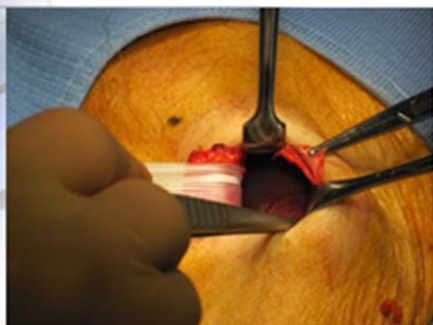
Step3 ヘルニア囊の高位結紮

Step4 腹膜前腔の剥離



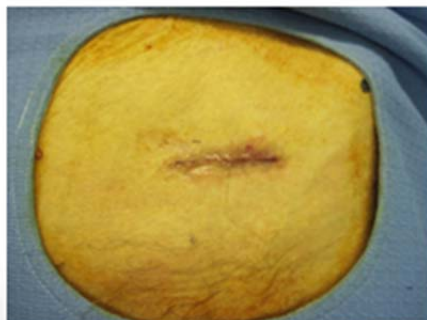
手術手技

Step5 メッシュの挿入



- ✓修復デバイスは病態を第一に選択、術者の修練のため多数の方法を用いる
- ✓後壁強固な若年者ではMarcy法
- ✓前立腺がん術後患者ではメッシュプラグ法を選択する事が多い
- ✓多数回再発症例は腹腔鏡下も選択

Step6 閉創



- ✓真皮縫合(研修医や学生が施行する事もある)

関西医科大学における手術評価表: STSAF (Structured Technical Skills Assessment Form)

患者 I D 手術日

担当者 (指導医/執刀医)

患者 BMI ヘルニア分類

手術時間 修復デバイス

下腹部手術既往の有無 (有りの場合術式)

ソケイヘルニア根治術 全般評価項目 (自己評価と指導者による評価)

	評価項目	得点
1	組織を愛護的に操作している	
2	助手を活用できる	
3	器具の名前をよく知っている	
4	無菌操作を厳守している	
5	動きに無駄がない	
6	手術の流れを尊重している	
7	次の操作を考えている	
8	手術室の雰囲気を良好に保っている	
9	外科医として良く働いている	
10	主たる術者として良く働ける	

0点: 未熟またはなし、1点: 時にまたはぎりぎり許容、2点: しばしばまたは平均的、3点: たいていまたは良好、4点: 常にまたは優秀

関西医科大学における手術評価表 (自己評価と指導者による評価)

	評価項目	得点
1	適切な麻酔方法を選択し、実施できる	
2	適切な皮膚切開位置を選択できる	
3	皮膚切開後に外腹斜筋腱膜まで解剖を理解し、切開・止血ができる	
4	ソケイ管の開放、精索の剥離ができる	
5	腸骨鼠径・下腹神経、陰部大腿神経陰部枝、下腹壁動静脈、外精巣静脈を同定できる	

6	ヘルニア嚢の同定ならびにヘルニア分類ができる	
7	精巣動静脈、精管のテーピング、パリエタリゼーションができる	
8	腹膜前腔の剥離（恥骨結節、クーパー靭帯、外腸骨静脈、腹直筋外側縁確認）ができる	
9	適切なデバイスを選択し、修復できる	
10	閉創できる	

0点：未熟またはなし、1点：時にまたはぎりぎり許容、2点：しばしばまたは平均的、3点たいていまたは良好、4点：常にまたは優秀

Trainee に対する評価

	項目	評価
1	トレーニング開始直後レベル	
2	ほとんどの場面でサポートが必要	
3	かなりの場面でサポートが必要	
4	わずかなサポートで遂行可能	
5	独立した術者と評価できる	

執刀医コメント

指導医コメント